

平成22年度 事後評価結果分析表

番号	要綱第2対象事業名	地区名又は箇所名	評価項目 (C、D)	【C】、【D】評価理由	評価を踏まえた新規、既存地区への反映の方向性	課名
23	砂防事業	上右原川	自然環境 C	不透過型の砂防堰堤であり、設置したことにより、上下流の動植物の移動を阻害するため影響がある。	ダム直下に保全家屋がある場合などを除き、自然環境への影響が少ない、透過型堰堤の採用を行う。	河川砂防課
24	砂防事業	晴気川第三	自然環境 C	不透過型の砂防堰堤であり、設置したことにより、上下流の動植物の移動を阻害するため影響がある。	ダム直下に保全家屋がある場合などを除き、自然環境への影響が少ない、透過型堰堤の採用を行う。	河川砂防課
25	砂防事業	巖谷川	自然環境 C	不透過型の砂防堰堤であり、設置したことにより、上下流の動植物の移動を阻害するため影響がある。	ダム直下に保全家屋がある場合などを除き、自然環境への影響が少ない、透過型堰堤の採用を行う。	河川砂防課

平成22年度 事後評価結果分析表

番号	要綱第2対象事業名	地区名又は箇所名	評価項目 (C、D)	【C】、【D】評価理由	評価を踏まえた新規、既存地区への反映の方向性	課名
26	砂防事業	平野川	自然環境 C	不透過型の砂防堰堤であり、設置したことにより、上下流の動植物の移動を阻害するため影響がある。	ダム直下に保全家屋がある場合などを除き、自然環境への影響が少ない、透過型堰堤の採用を行う。	河川砂防課
27	砂防事業	南下川第二	自然環境 C	不透過型の砂防堰堤であり、設置したことにより、上下流の動植物の移動を阻害するため影響がある。	ダム直下に保全家屋がある場合などを除き、自然環境への影響が少ない、透過型堰堤の採用を行う。	河川砂防課